

# News Letter

Office for Gender Equality, Toyama University

2012.6  
創刊号

## TOPICS

- 創刊あいさつ
- 女性研究者支援モデル育成事業展開と成果
- 新体制の紹介
- Information
- "11レーでつなぐ"ワーク・ライフ・バランス
- 数字で見る富山大学のいろいろ

チューリップの花言葉は、愛・思いやりです



## 富山大学は「男女共同参画」を推進します

富山大学長 遠藤俊郎



このたび、本学男女共同参画推進事業の一環であるニュースレターの創刊にあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。ご承知のように本学は昨年度、文部科学省科学技術振興調整費による「女性研究者支援モデル育成」事業(富山循環型女性研究者育成システムの構築)の事後評価において女性教員比率が17.5%となったことや継続性のあるサポートシステムを構築したことなどが高い評価を受けました。

本学は、3年間取組んだ基盤整備を基に、内閣府が提唱する第3次男女共同参画基本計画の重点施策に鑑みて、今後も女性教職員の比率向上に努めます。

また、富山大学が組織基盤の強化目標(富山大

学機能強化プラン)に掲げた男女共同参画事業を一層推進して、女性研究者支援の取組みを継続していきたくと考えています。支援制度と意識改革を継続するためには、適切な予算措置ならびに男女共同参画推進体制の整備が重要です。そこで組織基盤強化の一環として昨年度男女共同参画推進室を学長直属の組織と位置づけるとともに、全学規模の男女共同参画推進委員会を設置しました。これら男女共同参画推進体制が活発に運営され、また有効に機能することでさらなる男女共同参画が形成され、必ずや地域に根ざした理想的な教育・研究・就労環境が整備されていくことを確信しています。

## ニュースレターの創刊にあたって

富山大学男女共同参画推進室 室長 永山くに子

ニュースレター創刊にあたり、一言ご挨拶します。本学は地域社会からも、男女ともにワーク・ライフ・バランスが認知された理想的なモデルとして教育、研究および就労環境であると理解され、より多くの優秀な女性研究者の輩出や女子学生が集まる学府であることが期待されています。これまでに取り組んできた事業は、病児保育、学童保育、研究サポートシステム、さらに人材バンクなどの創設です。昨年度は、女性研究者支援モデル育成事業が終了し、波及効果のあった事業が大学独自の事業として積極的に継続されてまいりま

した。本年1月、私達推進室のメンバーは10部局を巡り、各部局長から今後の男女共同参画推進に関する聞き取りを行い、中長期目標設定に大変重要な意見を頂きました。まとめますと、本学の男女共同参画を推進するには、①意識改革をさらに推進する必要性、②これまでの支援策の見直しと対応、③委員会活動の推進ならびに大学運営と本組織の強化、④人材バンクの拡充による地域連携の強化が重要だということです。

今後、本事業の推進にこのニュースレターが大きな役割を担うことになるよう祈念しています。



はじめまして!

私たちは、こんな活動をしています!

### シンボルマーク



**SMARTとは?** Support Model for the Advancement of Female Researchers in Toyama

チューリップの花とその後ろにそびえ立つ立山連峰を分かりやすく1色で表現しました。立山連峰とチューリップの葉にグラデーションをかけ、女性らしい柔らかなイメージにしました。

### SMARTな集い

『SMARTな集い』は、毎月20日頃の11:30~13:00に五福キャンパスカフェ「AZAMI」で開催しています。

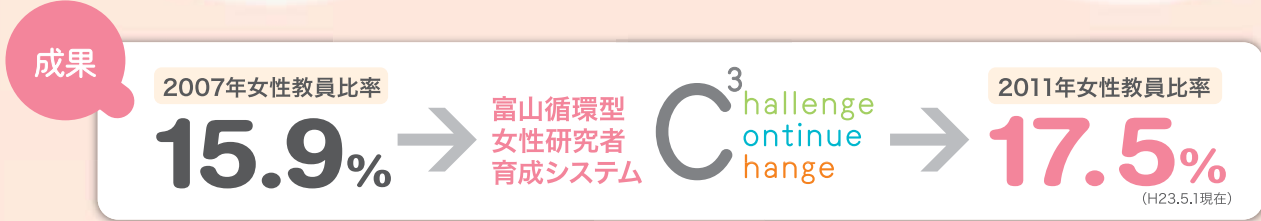


あなたも参加しませんか?

# 女性研究者支援モデル育成事業展開と成果

## 「富山循環型女性研究者育成システムの構築」

富山大学は地方発信型の特色ある育成モデルとして3項目を骨子としたシステムを構築しました。



平成23年度以降も女性研究者支援の取組を継続して実施していきます  
富山大学長 遠藤俊郎

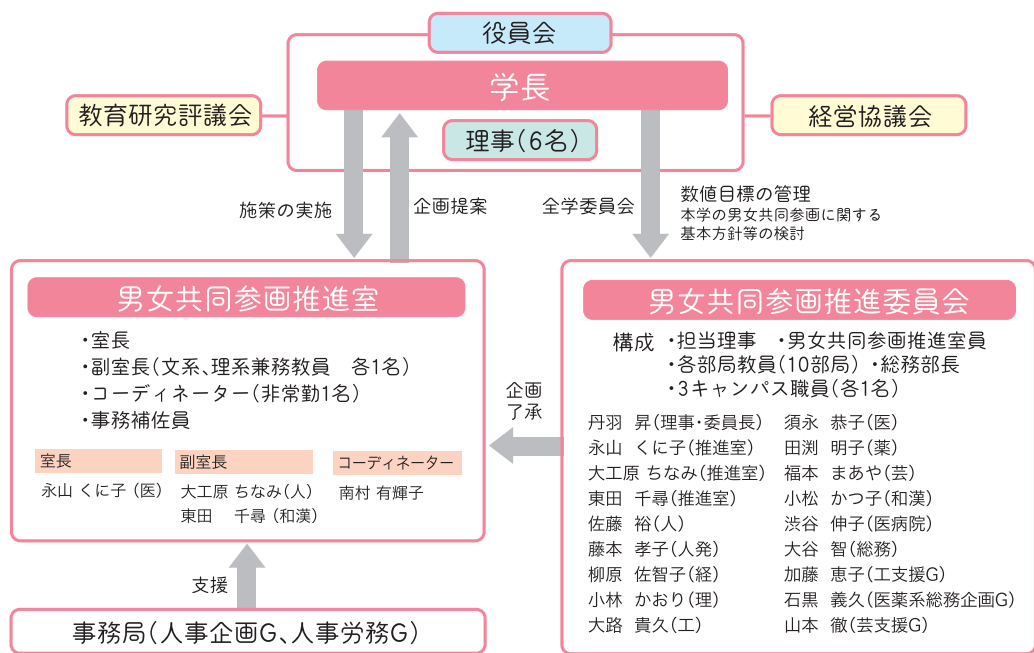
男女共同参画を推進し、研究就業環境の更なる向上を目指します  
富山大学機能強化プラン-CHALLENGE2014-

今後の取組み

## 新体制の紹介

男女共同参画推進委員会は、担当理事の下8学部・和漢医薬学総合研究所・附属病院の10部局から1名ずつの教員、総務部長、五福・杉谷・高岡キャンパスから1名ずつの事務職員、推進室長、副室長2名の合計18名の委員で構成されています。よろしくお願いいたします。

平成24年1月より永山くに子先生(医学部)が推進室長に就任しました。推進室は、室長と副室長の大工原ちなみ先生(人文学部)、東田千尋先生(和漢医薬学総合研究所)と南村有輝子コーディネーターの合計4名で活動しています。今後、事務補佐員1名が加わる予定です。



## 平成24年度前期研究サポーター制度

平成24年度研究サポーター制度・前期利用者が決まりました。  
前期には7名(女性4名・男性3名)を支援します。

### 申請資格・申請条件・申請時期

本学において教育・研究に携わる女性研究者(助手を含む)で、妊娠中又は中学校入学前までの子を養育している方、または家族を介護している方。子の養育、または家族の介護をしている男性研究者も申請可能です。申請時期は、4月(前期)と9月(後期)です。

### 研究サポーター募集中

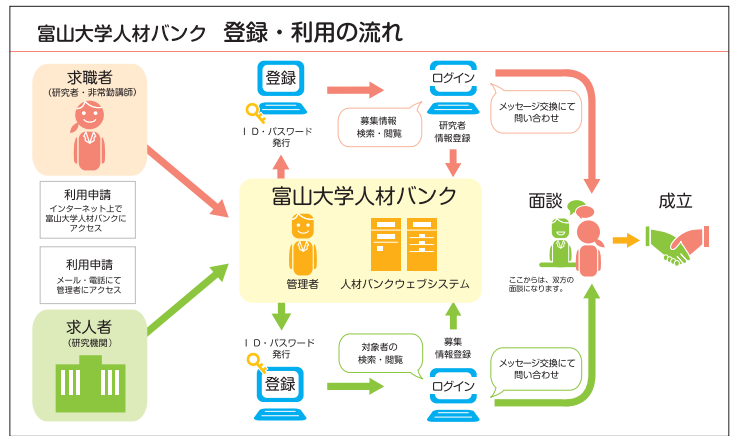
出産・育児・介護等で研究時間の確保が難しい研究者を有償で支援する方(学生・研究中断者等)を随時募集しています。サポーターに興味のある方は、人材バンクへ登録してください。あなたのサポートを待っています。

## 富山大学人材バンクを利用しませんか？

富山大学人材バンクは、富山大学内外における人材情報をWeb上で登録・閲覧・検索ができるシステムです。

例えば次のような場合にご利用いただけます。

- ・研究員、研究補助員、事務補佐員、研究サポーター、代替教員などの人材を探したい、または、そのような立場で働きたい
- ・ティーチングアシスタント、リサーチアシスタントをしてくれる大学院生を探している、または、アシスタントとして従事したい
- ・研究室に入ってくる大学院生を募集したい
- ・共同研究のきっかけになるように、自分の研究テーマを宣伝したい



富山大学  
人材バンク  
アクセス方法

Webで

富山大学人材バンク

検索

URLで

[http://www3.u-toyama.ac.jp/smart/03\\_torikumi/jinzaibank/jinzaibank.html](http://www3.u-toyama.ac.jp/smart/03_torikumi/jinzaibank/jinzaibank.html) に直接アクセスして下さい。

ご不明な点は、男女共同参画推進室までお問い合わせください。(TEL: 076-445-6146 E-mail: smart@ctg.u-toyama.ac.jp)

## 今年も開催します！夏季学童保育

五福  
キャンパス

7月25日～31日

場所/人間発達科学部(技術・美術棟)  
定員/30名

杉谷  
キャンパス

8月1日～7日

場所/医学部看護学科棟(3F 研修室)  
定員/15名

※詳細は決まり次第、学内掲示板や部局担当者からご案内します。

募集！サマーわくわく教室を担当してみませんか？

夏季学童保育期間中に、小学生を対象にした特別教室を開催します。これまでに、体操教室、ロボット教室、折り紙教室、科学教室などを行いました。ご賛同いただける方は推進室にお問い合わせください。



5月19日ピアエドゥケーター研修会を  
杉谷キャンパスで開催しました。

思春期に必要な性に関する知識を、産婦人科女性医師に伺いました。またピアエドゥケーションスキルを学びました。研修を受けた学生さんたちが、県内の高校に出かけて実際にピアエドゥケーションを行います。

ピアエドゥケーションとは…/

ピアエドゥケーション(仲間教育)とは、テーマについて「正しい知識・スキル・行動を共有し合うこと」。仲間と共感しながら、堅苦しくない雰囲気の中で重要な情報を普及・啓発することを目指す活動です。

サンフォルテフェスティバル2012に  
参加します。

本学は平成21年度以来、3回参加しています。フェスティバルでは、講演やワークショップ、にぎわいイベントなどが開催されます。様々なグループや個人が交流し、ネットワークを作り男女共同参画社会の実現を目指します。

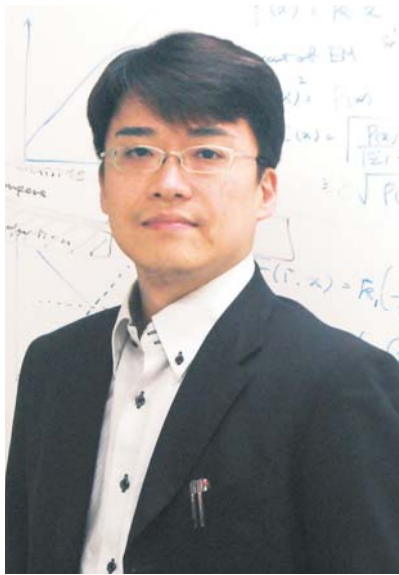
【開催日時】 2012年6月23日(土)、24日(日)

【会場】 富山県民共生センター サンフォルテ

今年の  
コンセプトは  
絆 きずな



素敵な研究者の皆さんに、  
ONとOFFのスマートスタイルについてお聞きしていきます。



女性研究者の  
ロールモデルもいいけれど・・・  
研究者を目指す女性のために、  
「女性研究者を妻に持つ男性」の  
意見を発信するのも重要だと思います。

ON  
style

大学院理工学研究部(工学)准教授 大路 貴久

略歴

京都生まれ、金沢育ち。2000年3月に金沢大学大学院自然科学研究科システム科学専攻を修了し博士(工学)を取得。2001年7月から富山大学工学部にて教育、研究に従事。妻は東北大学にて教育、研究に従事。

「女性研究者支援モデル育成事業」の流れからすると、女性研究者の「研究も日々の生活もバランスよくバリバリやっています！」というロールモデル記事がふさわしいのかもしれませんが、このたびご指名を受けて、ここはあえて「女性研究者を妻に持つ男性」として、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについてとりとめなく書いてみようと思います。

唐突ですが、何の因果か、妻とは2000年に某学会で知り合いました。ミレニアムで盛り上がっていたし、異国の地で舞い上がっていたし・・・ついには結婚することになりました。私は北陸、妻は東北。結婚するにあたり「一つ屋根の下で共に生活していくもの」という考えが成り立たないことは明らかでした。例外もいいところだけど、それでもまずは未来に向かって一歩踏み出してみました。

私の中には「人生を納得のいく形で全うするためにどうするか」という考えがあります。たまたま妻は同業者なわけですが、とことん突き詰めた研究があれば、それはさせてあげたいし、そのためにどう

サポートしていけばよいかと考えます。育児や家事などは、手が空いていれば空いている人がやればよく、夫が手伝うのはあたりまえ!と思っています。そこに男女云々は関係ありません。男女共同参画の目的には、女性が各分野で活躍しやすい制度や環境を作り、職場における女性の割合を「増やす」ことがあります。制度や環境の充実は当然必要ですが、女性の割合が「自ずと増える」ためには、女性側のワーク・ライフ・バランスが保てるように、男性側が自身のワーク・ライフ・バランスを柔軟に調整してサポートすることが重要だと思います。

私は「リケジョ」とか「イクメン」とかいう言葉が飛び交う現況は、歓迎すべきなのですが、同時に違和感を持ってしまいます。まだまだ何かと過渡期なのだなあと。男女共同参画関連の委員にはきっと女性研究者が多いことでしょう。制度策定のために奔走し現状を切り拓いておられる姿には頭の下がる思いです。きっと今は、この種の委員会自体が研究や家事などを圧迫している面もあるでしょうし、制度

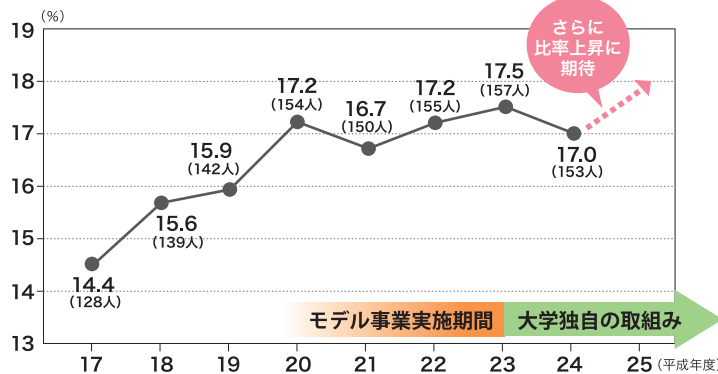
が充実してきたのに周囲の理解が得られず使いづらいという状況もあるでしょう。男女共同参画への意識が高まり、男女問わず気兼ねなく制度を利用できる状況が来ることを願ってやみません。そのための微力な一案として、女性研究者を妻に持つ男性の意見をまとめて、広く皆様に理解してもらうのもコツコツだけ確実にのこなと考えると思います。

予想していた生活はそのまま現実となり、かれこれ9年になりました。あのとき一歩踏み出して、なかなか味わえない苦勞をしながらもここまで辿りつきました。男女共同参画への意識が広く浸透すれば、もう少し生活しやすくなるかもしれないと期待しています。離れていても子供はできて、いつのまにか5歳です。ひとときの安らぎは静寂にはほど遠い、家族との騒がしい時間の中にあるのだなあと感じています。



家族でケーキ作りに挑戦中!何にでも興味を持って取り組んで欲しいと願っています。

OFF  
style



## 数字で見る 富山大学のいろいろ

### 富山大学の女性教員比率の推移

富山大学の全教員に占める女性教員の比率は、平成17年の三大学統合時には14.4% (128人) でした。本学が女性研究者支援事業を開始した平成20年度以降、女性教員数は増加し17%を越えて推移しています。しかしこの図では表れていませんが、理工系での女性比率、上位職での女性比率は未だ低い数値なのが現状です。今後は、それらも含めた比率が継続的かつ積極的な大学の取り組みによって、さらに上昇していくことが期待されます。

### 編集後記

男女共同参画推進室の記念すべきニュースレター創刊号が完成しました。富山大学にも男女共同参画に関するたくさんの制度があり、それらは年々充実してきています。これからもニュースレターを通じて、皆様に役立つホットな情報をお届けしていきたいと思っています。



発行  
富山大学男女共同参画推進室

〒930-8555富山市五福3190  
E-mail smart@ctg.u-toyama.ac.jp  
TEL076-445-6146 FAX076-445-6063  
URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/>

